

2019 年キャンパスアジアプログラム

A セメスターソウル大学留学報告書

教育学部 総合教育科学科 教育社会科学専修

教育実践・政策学コース 3 年 加藤早葵

1. はじめに

私は、2019 年 9 月から 2010 年 8 月までの 1 年間ソウル大学の自由専攻学部に交換留学することになっています。今回は、9 月から半年分の経過報告となります。

2. 留学前

私は、そもそもこのプログラムの存在を知ったのが 4 月の中旬であり、A セメスターの交換留学の応募締め切りは過ぎていました。同じくこのプログラムの参加者である鈴木さんからこのプログラムの存在を知った私は、次の S セメスターからの留学を検討しようと思い、EALAI の事務局にメールを送りました。そこですぐに返信が来て、まだ A セメスターの応募も間に合うと知り、急いで必要書類を作成したことを今でも覚えています。応募前に、韓国へ留学することに対してほとんど何も考えたことがなかったうえ、留学が決まるのも人より遅かったため、準備がとても

大変でした。深い考えもなく半年で応募しましたが、その後就活等の兼ね合いを考えた時に、やはり 1 年留学すべきだと考え直し、後から延長申請をするに至ったのもそのためです。今後留学する方は、早い段階から留学プログラムの内容を調べ、自分の進路等との兼ね合いを周りの人と話し合っておくことをお勧めします。

また、私自身、留学前に韓国語はほとんどできませんでした。第二外国語はフランス語を選択しており、韓国語は第三外国語として 1 年半ほど軽く触った程度で、簡単な自己紹介しか出来ませんでした。韓国に興味を持ち始めたのが大学入学以降であったこともありますが、第二外国語としてきちんと韓国語を勉強してから留学すべきだったという後悔はあります。韓国語が出来ないならば、英語が出来たのかと言われるとそうでもなく、大学入学以降ほとんど使わなかった英語力は徐々に低下しており、留学前に慌てて英語を勉強するはめになってしまいました。このプログラムを利用した留学では、韓国語や英語の実力のわかる明確な資格は必ずしも必要ではありませんが、私のように後で痛い目に合う可能性が高いので、安易な気持ちで応募しないことをお勧めします。

それから、私が韓国に留学した理由ですが、1 番大きな理由は韓国の文化に強い関心があったことです。私は年に 3 回ほど旅行に行くほど韓国が好きで、留学前からある程度の土地勘がありました。第 2 次 K-POP ブームから韓国の文化に嵌り、高校生の時の SGH ゼミでは研究対象国を韓国とし、現地の国際高校の生徒と討論

会を行うなど、長く韓国との関わりを持ってきました。とくに現在の K-POP ブームは世界的に広まり、日本でもコスメやファッションまで真似する人が増え、ビジネスとしても韓国文化は大成功を収めたと言えると思います。私は将来韓国に関わる仕事がしたいと思い、韓国に留学することで現地の文化により深く触れたいと思いました。また、もう一つの理由として、日韓の歴史問題が挙げられます。私たちが留学する直前もそうでしたが、日韓は度々歴史問題で衝突します。ニュースでも大きく取り上げられ様々な世論が飛び交いますが、私自身が歴史をきちんと学び、根拠に基づいた意見を持ちたいと思ったからです。とくに韓国で日本の歴史をどのように教えていて、人々がどのような意見を持っているのか、これはやはり現地で学ぶことで得られる重要な情報なのではないかと考えました。

3. 留学手続き

・ビザ… まず、日本にいる間に大使館でビザを発行してもらう必要があります。大使館は住民票の所在地によって異なるので確認してください。必要書類も大使館ごとに異なり、神奈川の場合は住民票も必要でした。事前に電話で確認することをお勧めします。また、ビザを発行してから留学以外の目的で海外に行くと、ビザが無効になるので気をつけてください。次に、韓国についてから外国人登録証を作る必要があります。学校でまとめて手配してくれますが、自分で予約して Immigration

Office に出向く方法もあります。どちらにしても指紋登録のために 1 度 Immigration Office を訪ねる必要があるのですが、予約が取れれば自分で行う方が楽で安く済むかもしれません。外国人登録証作成の際には顔写真が必要になるので、日本で用意しておくことをお勧めします。

・寮の申請… 寮の申請はまず建物の選択があります。このプログラムで留学する場合はどの建物を選択しても確実に寮に住めると思っていて大丈夫だと思います。建物は大きく分けて、従来のものと外国人向けの新しいものがあります。外国人向けは 5 人ほどの共用部屋と個室で成り立っており、従来のものは 2 人部屋が基本です。私は従来の建物の中でも 1 番値段が安い建物を選びました。部屋に空間を分ける仕切りはありませんが、トイレや洗面台、シャワーが共同部屋にあるタイプなので、水掃除は一切必要ありません。少々汚いところもありますが、ルームメイトと上手く過ごせば悪くない建物だと思います。建物を決めたら、次は支払いと健康チェックです。申請期間が大変短いため、海外送金や x 線検査は早めに済ますことをお勧めします。海外送金の際はレートが難しいため、過不足金を後で調整できます。

・授業登録… 韓国の授業登録はインターネットで行います。そして早い者勝ちです。予め取りたい授業をお気に入りに入れておきましょう。申請の順番も大切です。万

が一申請に失敗しても、後から先生に書類を出せば認められることが多いです。授業は多めに登録して後から減らしていくと丁度良いです。

・wi-fi 環境… 韓国は地下鉄やカフェ、構内のあらゆるところに Wi-Fi が通っています。しかし、なぜか寮の部屋には十分な Wi-Fi が飛んでいません。部屋でデータを使わないようにするか、大きめのデータ設定にするか検討する必要があります。

・携帯の契約… 私は新村にある JK mobile で sim を購入しました。韓国に来る前に携帯を sim フリーにしておく必要があります。また、外国人登録証がない段階では携帯番号の本人認証が出来ないため、作った後に再度店に寄る必要があります。携帯番号の認証は、ネットショッピングや銀行振り込みの際に必要になります。

・銀行口座開設…留学人説明会の日に口座開設の手配をさせていただきます。韓国は銀行のキャッシュカードに IC カードの機能も付いているので大変便利です。こちらも、外国人登録証ができた後には、再度銀行を訪ねましょう。そうすることで、カカオペイやネイバーペイなどが使えるようになります。

4. 授業

・語学堂

私は留学前に韓国語がほとんどできなかったこともあり、大学の授業だけでなく語学堂の授業も取っていました。プレースメントテストの結果2級からスタートすることになりました。語学堂の授業は週5、9時から13時まででそのあと大学の授業もとることを考えるとかなりハードでしたが、この時間の授業が1番レベルが高いと聞き、はやく韓国語を伸ばしたい一心でとりあえず半年間は乗り切りました。

授業は文法説明が中心で、授業内で積極的に発言することが求められました。課題が多く、プレゼンやロールプレイの機会も豊富で、これだけやれば韓国語が伸びるだろうと実感しました。写真は文化体験の際のものですが、このように韓国の文化を学ぶ機会も多く用意されていました。ここで出会ったクラスメイトとは仲良くなることができました。登録費に関して、基本的には自費となりますが、秋学期の登録費は半額大学から補助が出ました。また、成績優秀者には200,000wの奨学金がもらえます。



・大学

私は今期は大学の授業を2コマ取っていました。どちらも英語で開講されているものです。一つ目は「Two Koreas」という授業で、古代の韓国史から始まり、おもに南北朝鮮の歴史や文化、経済面に焦点を当てていました。北朝鮮についての知識がほとんどなかった私にはかなり新鮮な情報が多かったです。また、プレゼンで天皇の戦争責任に関して述べたところ、アメリカ人とは意見が合いましたが、韓国人とはかなり考え方が違い、歴史教育における学校での教え方の違いが浮き彫りにな

りました。中間試験と期末のレポート、プレゼンでの評価のため課題はそれほどきつくはなかったです。

二つ目は、「Contemporary Korea」という授業で、朝鮮半島の近現代における様々な問題を扱う授業でした。この授業はなにより課題が多くとても苦勞しました。毎週 30 ページほどの英語の論文を 2 つ読み、要約と感想を書かなければなりません。中間試験と期末試験は課題の文献に関する質問に答えるものなので、毎週課題をこなしていれば難しいものではなかったです。課題と試験、プレゼンの総合評価でしたが、課題をこなしていれば必ず単位がくると思います。課題が大変だったこともあり、途中で履修を止める生徒がかなり多かった印象です。

5. サークル

大学のサークルとしては、SNUBuddy に参加しましたが、授業や課題で忙しくほとんど行かずに終わってしまいました。他のサークルに入るかどうか迷いましたが、韓国語が話せなかったため諦めました。次の 3 月からの新学期に新しくサークルに参加しようと思っています。

大学のサークル活動に参加しなかったかわりに、日本人と韓国人が一緒に歴史を学ぶ学生団体”みんな”に参加しました。この団体は日本語で活動を行なっているため、韓国語ができない私でも気軽に参加できました。1 度この団体の活動としてナムの家を訪ねましたが、慰安婦の方に対する考え方が大きく変わりました。慰安

婦の方は戦争中に日本兵にされた行為だけではなく、戦争後に故郷に帰ることができず大変な暮らしを強いられたこと、そして日本兵を統括する責任者であった昭和天皇からの謝罪がなかったことを今でも憎んでいました。ですが、憎しみの対象は昭和天皇や日本兵にだけ向けられたものであり、日本人自体は好きであると答えていました。日本人全体を憎んでいないことはとても意外でしたが、もうすでに亡くなっている昭和天皇に対しての憎しみはどうしても消すことができないと考えさせられました。



6. アルバイト

大学の授業と語学堂の授業が重なっていた時期は忙しくてアルバイトをする時間はありませんでしたが、大学の授業が12月末に終わってからは少し時間に余裕ができたためアルバイトを始めました。もちろん大学からの奨学金で十分生活できますが、韓国でしかできない体験をしてみたくて私が試したものをいくつか紹介します。

1つ目は、インタビューを受けるアルバイトです。これは募集がある際にできるものですが、報酬はかなり良いです。とくに今韓国では日本向けのファッションブランドや化粧品を開発しようと動いている人が多く、ちらほら日本人留学生の募集を見かけました。私が受けたのはファッションブランドのインタビューでしたが、日本でのネットショッピングについて事細かに聞かれ、どのようなショッピングサイトが利用しやすいのかについて様々なアンケートに答えました。このプロジェクトはソウル大生の内定者が中心で、同じ大学生として学ぶことが多かったです。

2つ目は、日本語を教えるアルバイトです。韓国人の友人の紹介で、日本の大学院進学を考えている学生に日本語を教えていました。ひらがなやカタカナは読める状態からのスタートだったので、文法や漢字を中心に教えました。スタディールームを2時間借りて、週2で行っていたため少し大変でしたが、韓国人が日本語をどのように学ぶかを知ることは、自分の韓国語の勉強にもとても役に立ちました。

3 つ目は、アルバイトというほどではないですが、キュレーターを始めたことです。もともと韓国での生活を Twitter で個人的に紹介していたのですが、韓国文化を発信するコンテンツの運営の方にスカウトされて、Pocket Culture Korea というコンテンツ内のキュレーターをすることになりました。また、別の韓国情報サイト manimani の研修生キュレーターとしても今後は記事を書いていく予定です。韓国人の流行りをいち早くキャッチしたり、その情報を読む人にわかりやすく伝えることは想像以上に難しく、日々悪戦苦闘しています。

7. 最後に

留學生活の半分が終わってしまいましたが、前半を振り返ってみると、はじめに手続きで苦労したり、韓国語が出来なかったりしたために、学期中はとくに慌ただしく過ぎていき思ったほど留學生活を楽しむ余裕がありませんでした。学期が終わってからは、生活にゆとりが生まれ、韓国の生活にも慣れ、余暇を充実させられていると感じています。韓国語力の面でも、留學前は TOPIK の級を何も持っていなかった状態から 5 級合格レベルまで伸ばすことができたので、ひとまずほっとしています。次の学期では、サークルに参加し、言語交換のパートナーを見つけ、もっと韓国人の輪の中に入り込んだ生活をしていきたいと思っています。